

地域分析の観点からみた国勢調査の課題と展望

Problems and Prospects of the Population Census of Japan from the Viewpoint of Regional Analysis

井上 孝（青山学院大学）

Takashi INOUE (Aoyama Gakuin University)

t-inoue@cc.aoyama.ac.jp

1. はじめに

本報告は、人口を対象とする地域分析すなわち地域人口分析の立場から、国勢調査の諸課題およびその将来展望について議論する。いうまでもなく、人口の諸現象のうち地域人口分析の主対象となるのは人口分布と人口移動であるので、本報告ではこれら2つの人口現象を分析するための統計データとして国勢調査を位置づける。国勢調査の調査項目はそのすべてが地域人口分析の対象になりうるが、主に人口分布または人口移動の分析に用いられる調査項目は限られる。国勢調査の長い歴史の中で、それらの調査項目には廃止・修正・新設などのさまざまな変更が加えられてきた。そこで本報告では、第一の観点としてそうした調査項目の変遷に着目して国勢調査を論じる。一方、地域人口分析のための統計データは、人口分布または人口移動のいずれを分析する場合においても、当然ながらそのデータが地域別に集計されていなければならない。すなわち、集計の地域単位が地域人口分析にとって重要な要素となる。国勢調査の結果は、これまでさまざまな地域単位で集計され公表されてきたが、近年は、これまでの地域単位に加えて、より小さな地域単位での集計結果も公表されるようになってきた。こうした流れは地域人口分析にとって好ましいものであるが、それに伴う課題もいくつかある。そこで本報告では、第二の観点として集計の地域単位に着目して国勢調査を論じる。

2. 調査項目の観点からの議論

第1表によれば、人口移動に関する項目（上から1～6項目）は、2000年以降「現住居での居住期間」と「5年前の常住地」の2項目に定着しつつある。これらは、人口移動の動向だけでなく将来人口推計にも資することから調査項目として妥当であると考えが、その情報を生かすためには毎回の調査において設けるべきものである。しかし、人口移動に関する項目は基本的には大規模調査の年のみ設けられてきた経緯があり（2015年は東日本大震災のため特例として設けられた）、この点は改善すべき課題と考える。

3. 集計の地域単位の観点からの議論

第2表からわかるように、2000年以降、町丁・字等（小地域）、および、より小さなメッシュを単位とするデータが公表されるようになり、多様な地域人口分析が可能になりつつある。しかし、それらのデータを扱う際には、秘匿地域の設定、測地系の移行、地域区画の変更、メッシュの同定方法の変更など、種々の課題がある点に注意すべきである。

第1表 主に人口分布または人口移動の分析に関わる調査項目の変遷

調査項目\実施年	20	30	40	50	60	65	70	75	80	85	90	95	00	05	10	15
出生地	◎	◎	◎	◎												
現住居への入居時期							◎		◎							
現住居での居住期間													◎		◎	○
従前の常住地							◎		◎							
1年前の常住地					◎											
5年前の常住地												◎	◎		◎	○
従業地又は通学地					◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○
利用交通手段							◎		◎		◎		◎		◎	
通勤又は通学時間											◎					

注1) ◎は大規模調査、○は簡易調査の項目を表す

注2) 1925、35、47、55年の国勢調査は該当する調査項目が存在しないため省略

第2表 地域単位別にみた「政府の統計窓口」等で入手可能な国勢調査データ
(男女5歳階級別人口)

地域単位\実施年	1995	2000	2005	2010	2015
都道府県	○	○	○	○	○
市区町村	○	○	○	○	○
町丁・字等(小地域)		○	○	○	○
調査区					
基本単位区	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾
基準地域(1km)メッシュ	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	○	○
2分の1地域(500m)メッシュ	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	○	○
4分の1地域(250m)メッシュ			○	○	○
8分の1地域(125m)メッシュ					○ ¹⁾
DID(人口集中地区)	○ ³⁾	○ ³⁾	○ ³⁾	○ ³⁾	○ ³⁾

注1) (財)統計情報研究開発センターより有償にて入手可

注2) 日本測地系・世界測地系ともに入手可(日本測地系のデータは「政府の統計窓口」では入手不可)。無印のメッシュデータは世界測地系のみ

注3) 全国・都道府県・市区町村単位で入手可